

エンジンを使用する防災機種の管理のポイント

停電や火災など様々な災害が起こった時、非常用発電機や消防ポンプなどエンジンを搭載した防災機械が欠かせません。これらの多くは災害に備えているため、他の目的で日常使用する機会が少ないものがあります。そのため、いざという時に確実に使用できるよう、目的に合わせた機器の選択と日常の管理が大切です。

【発電機について】



小型発電機には安価なスタンダード発電機と良質な電気が使えるインバーター発電機があります。一般的な電動工具などを使用することはスタンダード発電機でもできますが、電子機器やスマートフォンなどの充電など、良質な電気が求められる場合はインバーター発電機が必要です。また小型発電機には燃料によってそれぞれ長所と短所がありますので使用目的に合わせて発電機を選択しましょう。

燃料	長所	短所
ガソリン	高出力が選べる	燃料の長期保管ができない
カセットガス	燃料の入手が容易 燃料の長期保管が可能 カセットコンロなど他の機器と互換性がある	運転時間が短い 出力が小さい
LPガス	長時間運転が可能 燃料備蓄が不要	持ち運びできない
軽油	燃料トラブルが比較的少ない	本体が重い

非常用発電機は日常的に使わないため、保管中に燃料の劣化が進み、いざという時に始動不能と

なることがあります。燃料の保管期限は一般的に6ヶ月といわれています。直射日光を避けて涼しい場所で密閉した状態で保管していても劣化が進みます。劣化したガソリンは黄色くなり、変な臭いがします。劣化したガソリンを放置していると、キャブレターの詰まりなどで始動不良となったり、本来の性能が発揮できなくなったりします。このため、燃料タンクに入った状態はもとより、容器に保管しているものについても定期的に使い切るか、新しいものと入れ替えておく必要があります。

【小型消防ポンプについて】

小型消防ポンプの燃料についても発電機と同じく、燃料の管理が大切です。

町内に配備している小型消防ポンプは2サイクルエンジンを使用して、多くは本体の燃料タンクにレギュレーターを入れ、オイルタンクに2サイクル専用のエンジンオイルを入れて使用します。毎年行うポンプ点検では、劣化したガソリンによる始動不良や回転が不安定なものが多く見られます。



また、小型消防ポンプはポンプ内に水がある状態で運転するように設計されていて、水が入っていない「空運転」をするとポンプ室内の軸受けにあるシールが摩耗し、真空漏れやポンプ室と隣り合うガバナール室のオイルが流出して、本来の性能が発揮できなくなる恐れがあります。点検や訓練では、長時間の空運転を避けて通水した状態でポンプを回してください。

【問合せ】役場総務課

82-1111

日南町名誉町民 安東 良博さん ご逝去



令和5年6月20日、日南町名誉町民の安東良博さんが逝去されました。84歳でした。

安東さんは、昭和14年に日南町で生まれ、鳥取大学医学部卒業後医師とされました。昭和57年から日南病院院長とされた後、日南福社会理事長、日南病院事業管理者を歴任され、長年にわたり日南町の地域医療を支えてこられました。その功績が称えられ、平成26年には日南町名誉町民章を受章されました。

安東さんは、全国に先がけて在宅診療や訪問看護などの在宅医療に取り組み、保健・医療・福祉が密に連携した地域医療の実現に多大な貢献をされました。その後、全国の多くの自治体病院や保健・福祉の関係者が日南町の取り組みを学び、福祉のまちづくりの志が広がっていきました。

日南町では安東さんへの追悼の意を表すため、6月25日から7月2日の間、役場・日南病院・あかねの郷に記帳台を設置しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

